

令和2年度第2回総合教育会議

令和2年11月19日

I 不登校・いじめについて

- 1 不登校の現状について
- 2 いじめの現状について
- 3 フリースクール通級の状況について



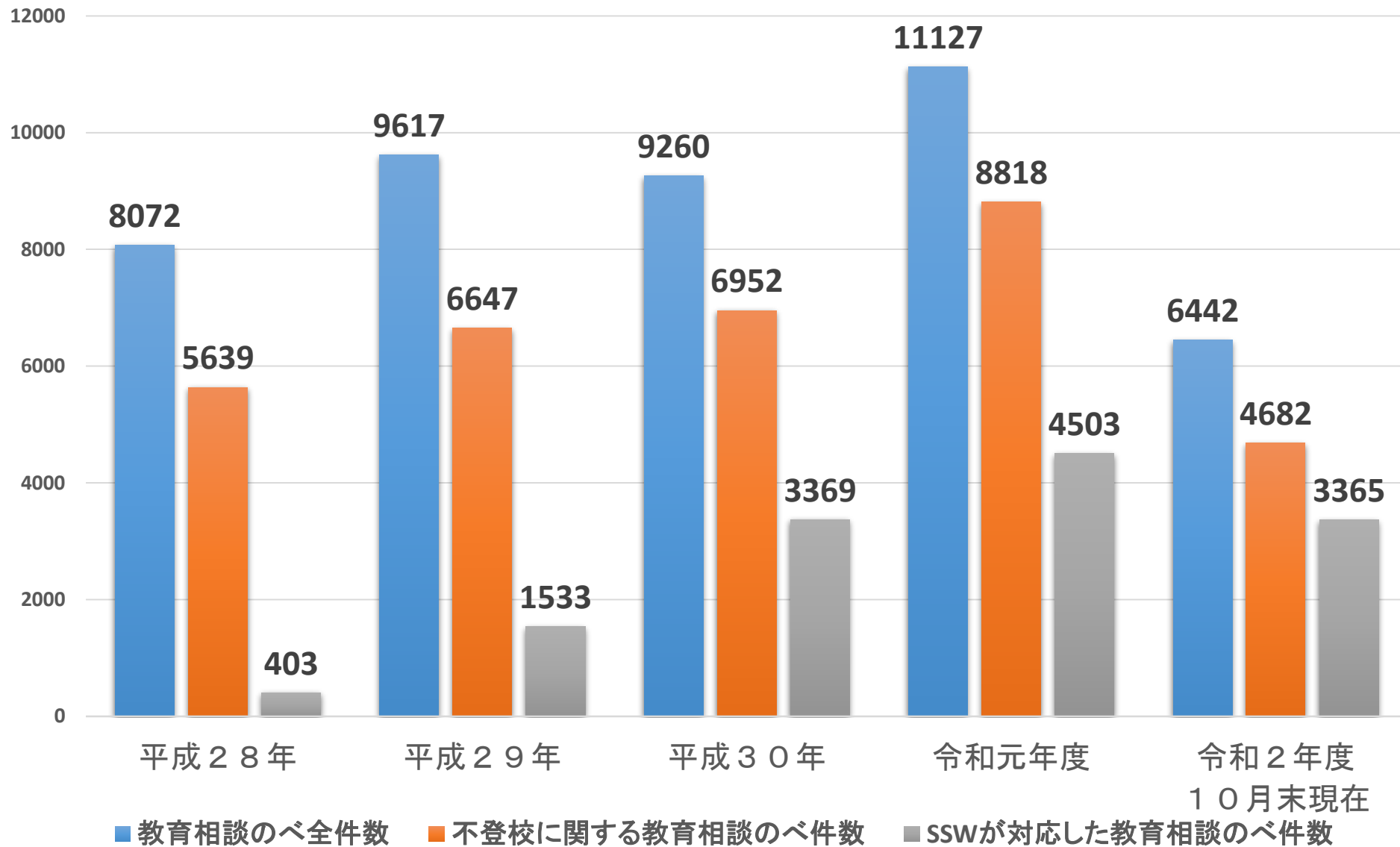
II 教員の働き方改革の状況について

- 1 本市の取組状況
- 2 他市の事例

III その他

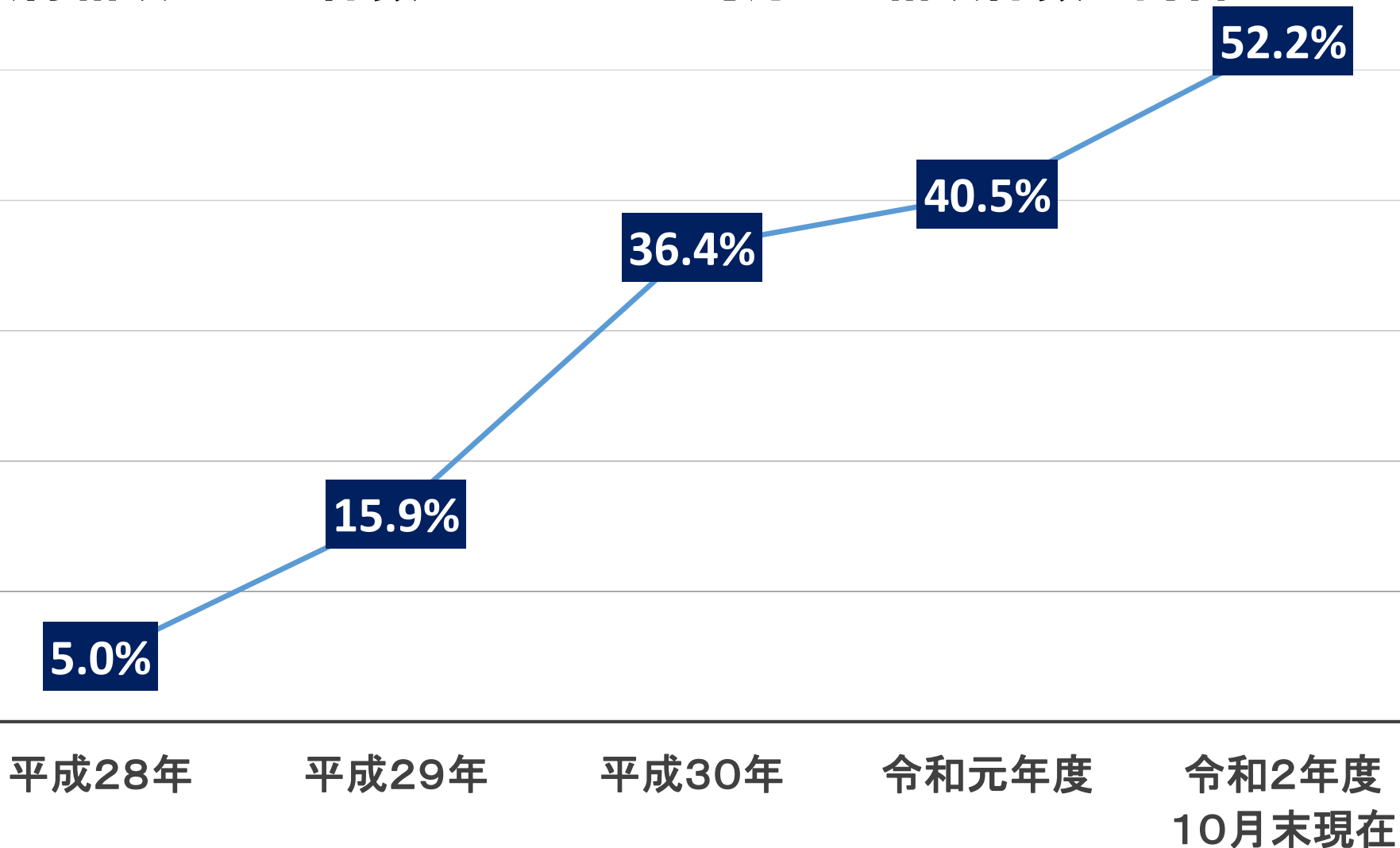
- 1 新型コロナウイルス感染症による影響(学校行事の実施状況)について
- 2 GIGAスクール構想の進捗状況
- 3 今後の幼児教育のあり方について
- 4 教育振興基本計画の進捗の報告について

I - 1 不登校の現状について 資料 1



I - 1 不登校の現状について 資料2

教育相談のべ全件数のうちSSWが対応した相談件数の割合



I - 2 いじめの現状について 資料3

いじめ認知件数及び解消件数

(令和2年11月5日時点)



	令和2年度認知	令和2年度解消 (昨年度認知事案も含む)	取り組み継続中 (昨年度認知事案も含む)
小学校	211件	94件	199件
中学校	65件	31件	62件

※いじめ重大事態事案（現在取組中） 小学校0件 中学校4件

I - 3 フリースクール通級の状況について 資料4

フリースクールの通級状況

年度	種別	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和元年度	小学校	0	0	0	0	0	1	1
	中学校	5	3	3				11
令和2年度	小学校	0	0	1	0	0	0	1
	中学校	2	6	3				11

I - 3 フリースクール通級の状況について 資料5

フリースクール別の通級状況

学校名	年度	小学校	中学校			合計
			1年	2年	3年	
星槎プラチナ フリースクール 星のいかだ教室	令和元年度	1 (6年)	0	0	0	1
	令和2年度	0	1	1	0	2
東京大志学園	令和元年度	0	2	2	0	4
	令和2年度	1 (3年)	0	2	1	4
浦和高等学園	令和元年度	0	1	0	0	1
	令和2年度	0	0	0	0	0
N中等部	令和元年度	0	2	0	1	3
	令和2年度	0	1	1	0	2
でいありす上尾	令和元年度	0	2	1	0	3
	令和2年度	0	0	2	2	4

Ⅱ - 1 本市の取組状況 資料6

業務量の適切な管理等に関する指針の策定

R元. 12

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与に関する特別措置法(給特法)の一部を改正する法律

【附帯事項】

「在校等時間の上限等に関する方針」を
教育委員会規則等で定めること



※(国)指針に基づき

R2. 4. 1

(市)規則の制定

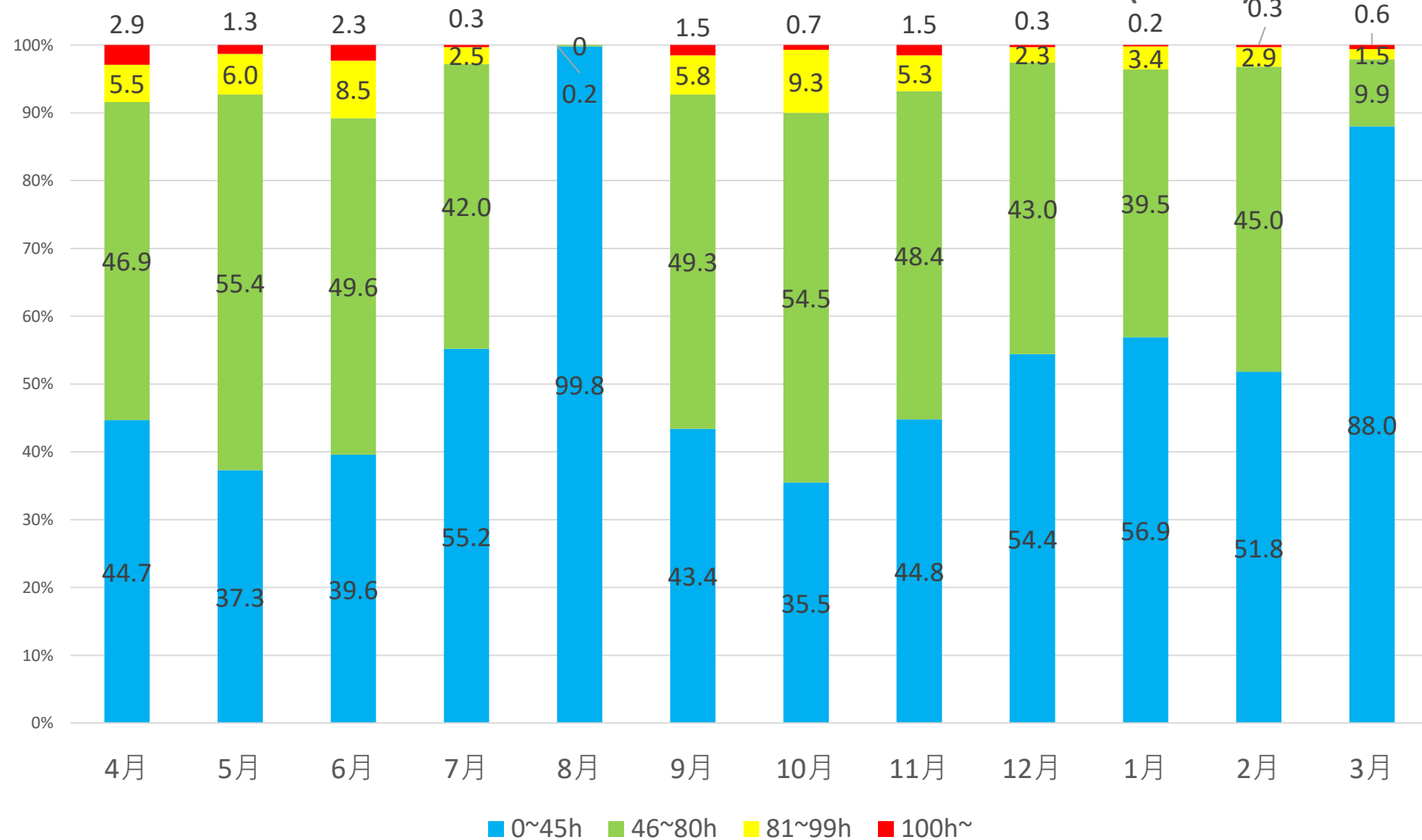
R2. 9. 1

(市)基本方針の策定



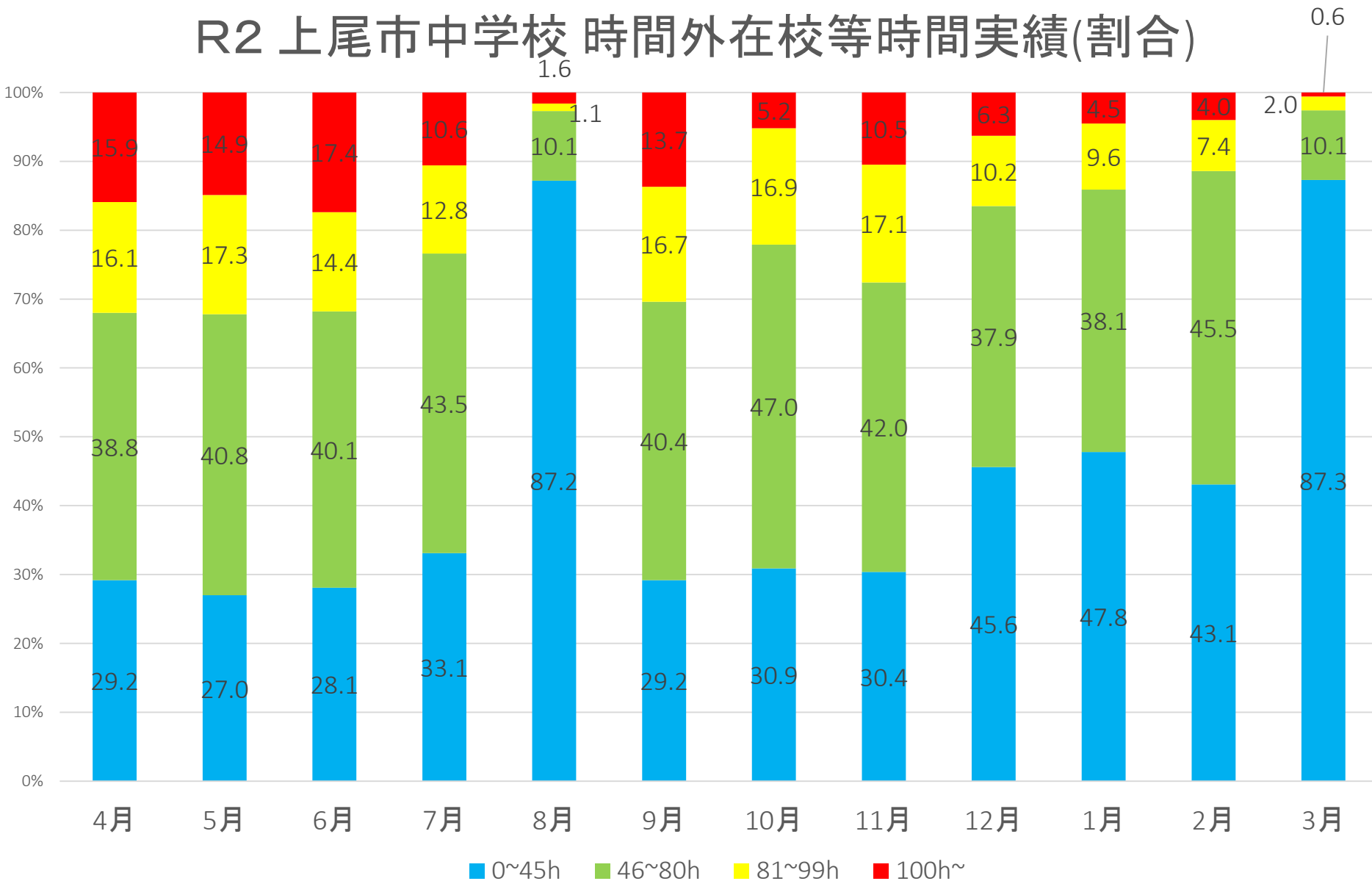
Ⅱ - 1 本市の取組状況 資料7

R 1 上尾市小学校 時間外在校等時間実績(割合)



Ⅱ - 1 本市の取組状況 資料8

R2 上尾市中学校 時間外在校等時間実績(割合)



Ⅱ－１ 本市の取組状況 資料９

上尾市立小・中学校における働き方改革基本方針

I 概要

Ⅱ 基本的な考え方

1 目的 **働き方改革を推進し、学校教育の質の維持向上を図る**

2 現状

3 課題

4 目標

5 目標達成に向けた四つの視点

6 取組の評価及び検証

Ⅲ 四つの視点における上尾市の主な取組

1 教職員の健康を意識した働き方の推進

2 教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減

3 教職員の負担軽減のための条件整備

4 保護者や地域の理解と連携の促進

Ⅱ－１ 本市の取組状況 資料１０

教員

- ・ 入校、退校時刻の打刻
- ・ ７時以降の入校
- ・ ２０時（半）前退校
- ・ 業務の見直し
- ・ 業務を計画的に行い、印刷等は、スクールサポートスタッフに依頼
- ・ ２か月連続時間外在校等時間が月８０時間を超えた場合、削減案を具体的に考え、働き方改善シートに記入

学校

- ・ 自校職員の時間外在校等時間の掌握、分析
- ・ 時間外在校等時間が月８０時間を超える教職員との面談
- ・ 留守番電話の設定
※ 電話対応時間の周知
- ・ 行事の精選
- ・ （小）教科担任制導入
- ・ （中）部活の活動時間の縮減
（部活動に係る活動方針）
- ・ 計画的年休の取得促進

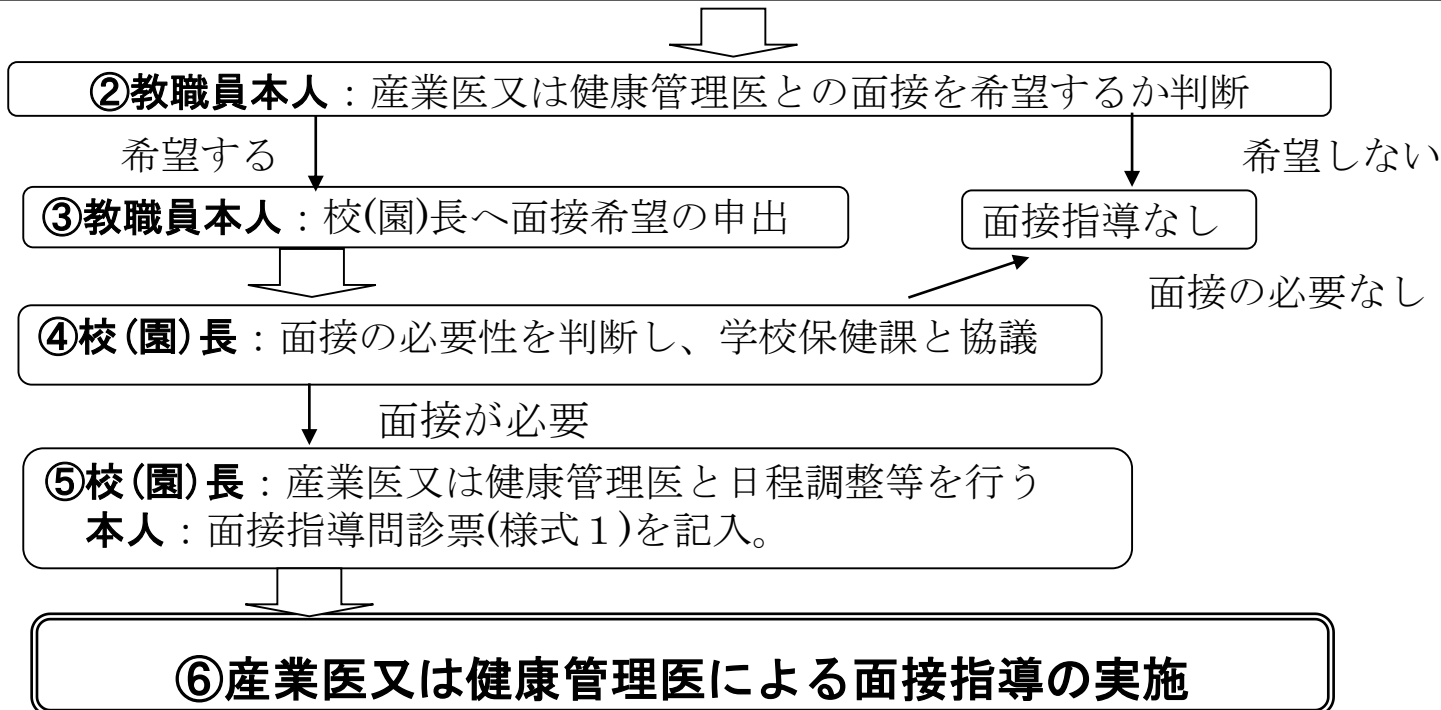
教育委員会

- ・ 市内教職員の時間外在校等時間の掌握、分析
- ・ アップスマイルサポーターの配置
- ・ スクールサポートスタッフの配置
- ・ 小学校特別支援学級補助員の配置
- ・ 部活動指導員の配置
- ・ 調査、報告の削減
- ・ 研修会の削減
- ・ 研究委嘱発表会の簡素化指示
- ・ 学校訪問時の指導案、接遇等の簡素化指示
- ・ 指導要録の電子化
- ・ 学校閉庁日の設定
- ・ 校務支援システム拡張の予算要求

Ⅱ - 1 本市の取組状況 資料 1 1

面接指導の流れ（一部抜粋）

- ①校（園）長：（１）在校等時間が月 80 時間超えの教職員を把握し、校長面接を実施する。
※対象職員と超過勤務の内容・健康面について課題や不安等について面接を行う。
※面接内容の中で、業務改善等が可能なものがないか検討し、可能なものについては改善を行う。
- （２）対応（１）の経緯について、記録を付ける。
※出退勤記録簿の余白に面接日及び指導内容を記入し、特記事項がある場合は、別紙に記録する。



Ⅱ－２ 他市の事例 資料12

【伊奈町の取組】

○勤怠管理ソフト「打刻ちゃん」

○カエル会議を通じて、教職員の意識改革をボトムアップ形式で実施する。

※民間(株式会社ワーク・ライフバランス)コンサルタントによる「カエル会議(教職員が業務改善の協議をする会議)」のコーディネート及び管理職・教職員の意識啓発研修会を実施

○加配教員及び業務アシスタントの活用

- ・ 教職員の事務的作業の補助
- ・ 印刷、とじこみ、資料作成等に関すること
- ・ 成績入力
- ・ アンケート集計
- ・ 電話対応
- ・ 保健事務に関すること
- ・ 授業準備等に関することなど

○校務支援システムの導入による業務の効率化

○教材、教具を共有するシステムの構築

Ⅱ－２ 他市の事例 資料13

志木市立小・中学校における「留守番電話機能付き電話」の導入について

取組内容（志木市全体で進める取組）

Ⅰ：教職員の定時退勤を促進する取組

- ICカードによる在校時間の把握
- 毎月21日「ふれあいデー」の推進
- 週に一回の「リフレッシュデー」の推進
- 留守番電話機能の設置（小学校午後6時以降、中学校午後7時以降）
- 午後6時以降の市教委から学校への電話連絡禁止
- 土曜日・日曜日・祝日の市教委から学校への電子メール禁止

Ⅱ：教職員の「余裕時間」を確保する取組

- 学校や担任の手に余る課題（要望、苦情等）に対する弁護士による法務相談制度
- 市役所・市教委からの通知・調査依頼の精選・見直し
- 中学校「生活ノート」の縮小
- 中学校部活動に週一日の休業日を設定

Ⅲ：教職員の事務処理の効率化を図る取組

- 校務支援システムの導入（児童・生徒名簿、出席簿、通知表、指導要録の一元化）
※できるものから順次。
- 学校分担制による年間指導計画原案の作成（教科書採択時）
- 教育委員会へのメール送信の簡略化（●●様へ■■小・▲▲より）